

東京・京都館の新たな展開

－ 京都館プロジェクト2020 －



現在の京都館が入居しているヤンマービルが
平成30年度から建替え。

京都館は 平成30年3月から 新たな展開を開始します！

新しい場所に移転するまでの期間
「京都館プロジェクト2020」を実施。

2020年(平成32年)の東京オリンピック・パラリンピック以降を見据え、
様々な場所で、様々な取組に実験的、挑戦的に展開。

新しい京都館の可能性を探っていきます。

現京都館の概要

施設概要

京都関連情報の総合拠点施設(平成18年10月開設)



場所	東京駅八重洲口前
面積	106坪(350㎡)
営業時間	10時30分～19時
休業日	年7日
運営	(株)京都産業振興センター

館長

小山薫堂 氏(平成26年9月就任)



館長のネットワークを活かし、京都館の魅力創造と同時にメディアを通じた情報発信を展開。

機能

- ・観光や移住等の京都情報の発信
- ・京都の中小企業者向けのイベントスペース
- ・伝統工芸品・食品の展示, 販売
- ・文化・産業に触れる体験・講座

実績

- 政令指定都市唯一のアンテナショップ
- ・来館者数 25万4千人 ※H28年度

伝統工芸ギャラリー



情報・書籍コーナー



イベント・体験コーナー



工芸品・食品コーナー



新しい京都館の目指すところ ①

背景

東京オリンピック・パラリンピックの開催(平成32年)

- ▶ 首都圏における情報発信の重要性の向上

文化庁の京都への全面的な移転決定(遅くとも平成33年)

- ▶ 文化で日本を元気にし, 世界に発信



目的

京都文化, 日本文化の首都圏での発信

伝統産業の振興

京都への投資の喚起(観光, 移住, 企業誘致など)

京都の比類なきブランド力の向上

新しい京都館の目指すところ ②

現京都館の機能

観光や移住等の京都情報の発信

京都の中小企業者向けのイベントスペース

伝統工芸品・食品の展示, 販売

文化・産業に触れる体験・講座



新たに付加したい5つの機能

民間連携が
キーワード

本物の京都文化の更なる発信, 日本文化の発信

京都ファンが集い, 学び合える場

京都に憧れる方々と京都市民とのネットワーク化

民間施設との共同, 連携・連動

京都産品の需要拡大

新しい取組にチャレンジ!

そのためにも, まずは新しい京都館の形態, 設置場所, 新たに付加する機能などについて, 創造的に検証する。

京都館プロジェクト2020

京都館プロジェクトは、首都圏において、京都情報の発信を継続・発展するとともに、創造的検証を行う期間に位置付け。

2017年11月

2018年3月

2020年以降を目途



現京都館

新京都館

京都館プロジェクト2020

京都館プロジェクト2020

プロジェクト **1** コラボ京都館

プロジェクト **2** サロン京都館

プロジェクト **3** 京都館「のれん分け」

プロジェクト **4** バーチャル京都館

都内各所で
展開

銀座，青山，日本橋等，都内各所で民間事業者
とタイアップした期間限定の京都館をポップアップ展開。

【例】

文化施設 × 京都館
百貨店 × 京都館
集客施設 × 京都館
企業 × 京都館

立地場所，民間企業の業種業態などを加味。

物販，情報発信，体験，文化発信などの可能性について検証。

テーマ

- 新しい京都館への期待, 要望
- 京都の魅力向上に向けた提案
- 京都の課題解決

議論や意見交換を通して, **京都の魅力再発見**と**京都ファンの拡大**につなげる。

▶ 若い世代, 社会的に影響力のある層などをネットワーク化

民間事業者等と文化, 産業等をテーマに対話・検討



京都の魅力向上課題解決プロジェクト@東京



民間の参加型企画
チーム「ORANGE
brainery※」とタイ
アップし, 京都をテ
ーマにした企画提案をい
ただくことも予定

※社会に新たな価値を生み出すアイデアを持ち寄って企画・実行する場(港区神谷町)。メンバーは一般から広く募集され, 有料の会員制で運用されている。

京都館プロジェクト2020

プロジェクト

3

京都館「のれん分け」

■「京あるきin東京※」で培った「京都ゆかりの店舗」のネットワークを活用。

都内
10店舗

■立地環境，店舗形態，業種などを踏まえ，京都情報の発信をお手伝いしていただける京都ゆかりのお店を選定し，「京都館」を暖簾分け！

■観光PR，移住促進，イベント告知などを担っていただく京都市公認の「民間・京都館」

※「京都創生」のPRや「京都ファン」の更なる拡大，首都圏における京都ゆかりの企業や団体，大学のネットワークづくり等を目的に，平成22年度から実施している事業。平成28年度は2月4日～3月5日に実施。



出典：京あるきin東京2017パンフレット

プロジェクト 4 バーチャル京都館

- 双方向型ホームページを平成30年3月開設
- SNS活用のほか、クラウドファンディングの検討
- 首都圏での京都に関するイベント情報の告知
- イベントのLIVE配信, 連動

(コンテンツ例)

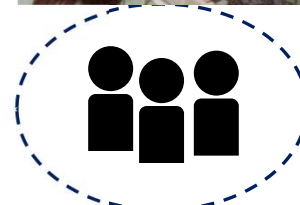
文化や産業に関わるプロジェクト@京都

「ほんまもん」をつくる伝統産業の担い手やグループのプロジェクトをWEBに掲載。



京都の魅力向上課題解決プロジェクト@東京

サロン事業から生まれたコミュニティによる京都の魅力向上や課題解決の取組等を随時WEBに掲載。




(例)商品開発, 京都の魅力向上 等

京都館プロジェクト2020

★今年度のリーディング事業★

プロジェクト 1 コラボ京都館




 松竹 × 京都館

3月上旬、東京銀座に位置する歌舞伎座の歌舞伎座ギャラリーで、京都発祥の歌舞伎の魅力や、伝統・文化の継承とイノベーションについて、歌舞伎俳優、小山館長等によるトークショーを開催。



プロジェクト 2 サロン京都館



 × 京都館

12月～1月頃、京都ファンや民間事業者を巻き込んで、新京都館のあるべき姿について話し合うサロンを開催し、民間事業者主体のプロジェクトを始動する。

